

奥多摩の医療の未来、 奥多摩病院だより【第1回】

奥多摩病院は、地域に根差した病院として、患者さまとの信頼関係の中から、全人的な医療を目指すことを「理念」として奥多摩の医療の未来を守っています。

その一端を、今後「広報おくとま」において、季刊でお知らせします。今回はその第1回です。

院長就任のごあいさつ

院長 井上大輔



今年4月より奥多摩病院長を拝命致しました井上大輔です。この場をお借りして、皆様就任のごあいさつをさせていただきます。

平成19年度に、ここ奥多摩で一年間お世話になり、住民の皆様のおかげで、住民の皆様のおかげで、お気持ちと素晴らしい風土に触れ、奥多摩が大好きになりました。この時に、いつか必ず奥多摩に戻り、この町で地域医療を追及していこうと固く心に誓いました。以来、奥多摩への熱い想いを抱き続け、念願かない平成24年度に帰ってくることでできました。この春で通算8年目の奥多摩になります。

先人の皆様のご尽力により、奥多摩病院は実に多彩な機能を有しています。病気の予防、様々な病気・ケガへの対応、救急車の受け入れ、お子さんから高齢者まで診る医療、病院を飛び出しご自宅に伺う医療、人生の終焉を穏やかに診させていただく医療・・・こういった多様な手段を用いて、ここ奥多摩を愛し生きてこられた皆様に寄り添い、皆様の人生の良き伴走者として、できる限りのことをさせていただきます。当院が得意でない高度医療に関しては、青梅市立総合病院さんなどの周辺医療機関と顔の見える関係を築き、より充実した連携を図っていきます。

精一杯頑張つてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

赴任のごあいさつ

医師 高梨 俊洋



この度平成30年4月から奥多摩病院に赴任しました高梨俊洋と申します。

出身は奥多摩から遠く離れた日本海に浮かぶ島、島根県隠岐の島町です。高校卒業まで島で育った後に島根大学医学部に進学し平成25年に卒業致しました。関東地方とは縁もゆかりも無い人生でありましたが、医師になつて2年目に青梅市立総合病院の研修医として青梅市にやってきました。同病院での研修の途中に1か月ほど奥多摩病院で研修をさせて頂いた機会があり、当時私の指導医であった井上大輔先生をはじめとする諸先生方の熱心な指導や温かい病院スタッフに非常に感謝を受けました。またちょうど秋の素晴らしい紅葉の時期でもあり、わずか1か月の研修でしたが非常に印象に残る充実した研修でありました。「いつかまた奥多摩に来たら」と思いながらも研修期間終了後は島根県に戻り地



元の総合病院で研鑽を積んでおりました。

そんな中で幸運にも井上大輔院長に再開する機会に恵まれ、縁あって奥多摩病院に赴任することが実現致しました。研修時には再び奥多摩病院で働ける日が来ると思ってもみなかったことです。が、こうして実際に帰ってくることで本当にうれしく思っております。

まだまだ未熟な若輩者ではございますが、奥多摩町の皆様の健康に関して少しでも力になればと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。